

埼玉県・クイーンズランド州スカラシップ 報告レポート

枚岡 愛唯

1. はじめに

この度、埼玉親善大使としてオーストラリアにあるクイーンズランド州に派遣していました。枚岡愛唯です。

約2週間、日本では得ることのできない、貴重な経験をたくさんすることができます。このような素敵なかついたことに感謝申し上げます。

本レポートでは、現地での生活や埼玉親善大使として行った活動等について紹介させていただきます。

2. Yeppoonについて

今回は、クイーンズランド州の東部に位置するYeppoonに滞在しました。この町は、自然が豊かだったり、綺麗な海が近くにあったりするため、とてもどかな雰囲気でした。

私たちが訪れた7月～8月は冬に当たりますが、最高気温は20°Cほどで、日中は半袖で過ごすことができるほど暖かかったです。

3. 学校生活について

私たちは、Yeppoon State High Schoolという公立の中高一貫校に通い、現地の生徒の皆さんと一緒に授業を受けたり、休み時間をお過ごしたりしました。

時間割は、70分授業が4つで、2時間目の後に40分のAMブレイク、3時間目の後に30分のPMブレイクがありました。休み時間には、外でお昼ごはんを食べたり、生徒の皆さんとスポーツやコミュニケーションを通して交流したりして過ごしました。長い休み時間が2度あることで、気分転換をすることができ、授業への集中度が高まったため、とても良いシステムだなと感じました。

授業は、数学や生物、歴史など日本と同じ科目が多かったです。しかし、授業は講義形式ではなく、パソコンを利用した調査や生徒同士のディスカッションがメインでした。このように、生徒が主体的に学習に取り組んでいる姿が印象的でした。

さらに、驚いたのは、日本語を学んでいる生徒が多かったことです。Yeppoon State High Schoolの他に、St Ursula's Collegeという私立の女子校やEmu Park State Schoolという公立の小学校にも訪問させていただきました。どの学校にも日本語の授業があり、日本の方が好きな人が多くて嬉しかったです。

放課後には、吹奏楽部の活動を体験させていただきました。Yeppoonで開催されるイベントに向けて、座奏やマーチングの練習に取り組んでいました。部活動の活動頻度は、週一回程度ということで、部活動と自分の趣味ややりたいことを両立できる環境が整っています。

ると感じました。

2週間、高校に通った中で、たくさんの楽しい思い出を作ることができました。生徒や先生方がとても優しく、教室移動の時や休み時間などにたくさん話しかけてくださいったり、授業で分からぬことがあつたら助けてくださったりしました。私たちを支えて下さった皆さん、本当にありがとうございました。

4. ホームステイについて

私のホストファミリーは、ご両親と3人の子供がいました。ホストファザーは料理が上手で、いつも美味しいご飯を作ってくださいました。また、ホストマザーはとてもフレンドリーな方で、「学校楽しい?」や「お菓子食べる?」などとたくさん話しかけてくださいました。さらに、ホストプラザーやホストシスターはとても優しく、学校が終わると必ず教室まで迎えに来て、一緒に帰ってくださいました。

休日には、ホストファミリーと一緒にビーチやショッピング、パーティに行ったり、家の庭でBBQをしたりと様々な体験をしました。どれも日本では体験することのできないもので、楽しく、忘れられない体験となりました。

ホストファミリーの皆さんのおかげで、充実した生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

5. 埼玉親善大使として

私は、埼玉親善大使として主に2つのことに取り組んできました。

1つ目は、埼玉県の紹介を行ったことです。学校で特別授業として、Year7とYear8の皆さんに埼玉県に関するプレゼンテーションをしました。親善大使の6人で分担をし、私は、埼玉県の郷土料理や銘菓についてスライドと英語のスピーチで説明しました。また、ホストファミリーや生徒の皆さんとお話をする際に、埼玉県の名所など、埼玉県の魅力について積極的に伝えるようにしました。「埼玉県に行ってみたい」と言ってくださいり、とても嬉しかったです。

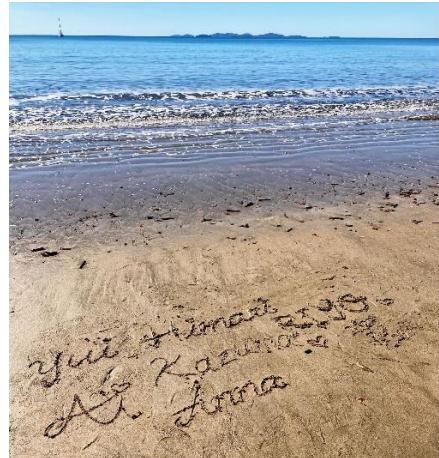
2つ目は、インスタグラムでの情報発信です。`@_ai.qldlife`というアカウントを開設し、その日の出来事や感じしたことなどを写真とともに毎日、投稿しました。SNSを通して、多くの人に現地での生活について発信することができました。

6. おわりに

はじめは不安なことも多かったのですが、ホストファミリーや学校の皆さんのが暖かく迎え入れてくださいたおかげで、とても貴重な経験をすることができました。このプログラムを通して得た学びを、様々な場面で活かしていきたいと思います。

最後に、このような素晴らしい機会を設けてくださいたすべての関係者の皆様、一緒に過ごした親善大使の仲間たち、改めまして本当にありがとうございました。

7. 活動の記録（付録）



Yeppoon のビーチ



コアラやワニとのふれあい



最終日の Farewell Lunch